



令和6年度第1回君津市「まち・ひと・しごと創生」有識者会議

議題（2）

君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の進捗状況等について

令和6年8月28日(水) 午後2時～

君津市役所6階 災害対策室

資料2

総合戦略趣旨

人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域を維持していく！

第2期君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の6つの基本目標

- 1 安心して働ける環境をつくる（戦略的プロジェクト）
- 2 子育て世代が住みやすいまちをつくる（戦略的プロジェクト・重点取組施策）
- 3 環境グリーン都市をつくる（戦略的プロジェクト）
- 4 デジタル技術を活用して新たな価値をつくる（戦略的プロジェクト）
- 5 君津へのひとの流れをつくる
- 6 つながり・支え合いによる安全安心なまちをつくる

※戦略的プロジェクト→総合戦略の中でも特に戦略的・重点的に取り組むもの。

※重点取組施策→若い世代の人口流出に歯止めをかけ、誰もが将来にわたり君津に住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりに向けて令和6年度重点的に取り組む3つの施策。【子育て・教育・住まい】 -1-

戦略的プロジェクトに係る基本目標の進捗

Ⅰ 安心して働ける環境をつくる（戦略的プロジェクト）

【数値目標】

指標	策定時	現状値（R5）	目標値（R8）	到達度
労働力人口（就業者）	42,921人（H27）	-	43,100人	-
労働力人口（完全失業者）	1,606人（H27）	-	1,445人	-

【施策（抜粋）】

取組の方向性	施策分野	施策の展開
企業誘致・創業支援の推進	1-1 商工業振興	⑤企業誘致の推進
グリーン・デジタル化に関する支援	1-1 商工業振興	①持続的な経済発展の実現 ③地域を支える事業者の経営力強化
多彩な人材の活躍支援	1-1 商工業振興	④働きやすい環境づくり
	1-2 農林業振興	①多様な担い手が活躍できる環境の整備
	2-2 高齢者福祉	①高齢者がいきいきと暮らせる環境づくり
	2-3 障害者福祉	②障害のある方の就労支援の充実
	5-3 人権・男女共同参画	③女性が活躍する社会の実現に向けた環境づくり

【KPI】

指標	策定時	実績値		目標値（R8年度）	到達度
		R4年度	R5年度		
新規企業立地件数 （投下固定資産取得による立地奨励金対象件数）	-	0件	1件	累計2件	向上・維持
商業（卸売業・小売業）の年間販売額	152,568百万円（H28）	14,906百万円（R2）	-	167,824百万円	-
工業（製造品）の年間出荷額	775,998百万円（R1）	585,110百万円（R2）	903,487百万円（R3）	853,597百万円	達成
きみジョブの紹介による就職人数	48人（年間） 令和2年10月～令和3年9月	73人（年間）	74人（年間）	62人（年間）	達成

戦略的プロジェクトに係る基本目標の進捗

2 子育て世代が住みやすいまちをつくる（戦略的プロジェクト・重点取組施策）

【数値目標】

指標	策定時	現状値（R5）	目標値（R8）	到達度
生産年齢人口（15～64歳）	45,829人（R2）	43,054人※	43,700人以上	低下

※ 策定時の人数を基準とし、これに住民基本台帳の増減数により集計（令和6年3月末時点）

【施策（抜粋）】

取組の方向性	施策分野	施策の展開
子育て世帯が住みやすい住環境整備	4-7 都市創造・住まい	①市街地の都市機能の充実 ②良質な住宅の普及促進 ③空き家対策の推進 ④公園のリニューアルを始めとした都市空間の新たな魅力づくり
保育の受け皿整備などの子育て支援の推進	3-1 子育て	②保育環境の整備と特色ある幼児教育・保育の推進
妊娠・出産・子育てなどにおける支援体制と教育施策の充実	3-1 子育て	①妊娠・出産・子育て期にわたる支援体制の充実 ③子育て家庭への支援体制の充実 ④結婚を希望する方への支援の推進
	3-2 学校教育	①子育てできる環境づくり ②生きる力を育む学校教育の推進 ③新しい時代に必要な資質・能力の育成 ⑤より良い学校環境の整備
	3-3 生涯学習	②子どもも大人も学び成長し続けられる機会の充実

【KPI】

指標	策定時	実績値		目標値（R8年度）	到達度
		R4年度	R5年度		
市街化区域内の居住人口	57,782人（R2年度）	57,300人	56,800人	57,800人	低下
保育所等利用待機児童数	85人（R3年度）	9人	0人	0人	達成
「この地域で、今後も子育てしていきたい」と思う人の割合	65.5% （H30年度～R2年度の平均値）	66.5%	66.6%	71.5%	向上・維持

戦略的プロジェクトに係る基本目標の進捗

3 環境グリーン都市をつくる（戦略的プロジェクト）

【数値目標】

指標	策定時	現状値（R5）	目標値（R8）	到達度
本市から排出される1年間の温室効果ガス	2,875千t-CO ₂ （H30）	-	減少させる	-

【施策（抜粋）】

取組の方向性	施策分野	施策の展開
水と緑の保全、森林の整備	1-2 農林業振興	②安定した農業経営の確立 ④森林整備の促進
	1-3 環境共生	②生活環境と自然環境の保全
環境に配慮した企業の立地、企業の脱炭素に向けた設備等の更新・導入等	1-1 商工業振興	①持続的な経済発展の実現 ⑤企業誘致の推進
	1-3 環境共生	①脱炭素社会の推進
	1-4 観光振興	①観光資源の磨き上げ
省エネルギー家電の利用、エコドライブ、ごみの4R促進	1-3 環境共生	③ごみの減量化・再資源化の推進
	3-2 学校教育	④脱炭素社会の実現に向けた環境教育の推進

【KPI】

指標	策定時	実績値		目標値（R8年度）	到達度
		R4年度	R5年度		
森林施業面積	58ha（R2年度）	66ha	68ha	105ha	向上・維持
小糸川と小櫃川のBODの環境基準適合率	100%（R2年度）	100%	100%	100%を維持	達成
新規企業立地件数（投下固定資産取得による立地奨励金対象件数）	-	0件	1件	累計2件	向上・維持
公共施設総量（H27年度）の削減	△8,006.92㎡ （H28年度～R2年度）	△2,252.05㎡ （R3年度～R4年度）	△2,361㎡ （R3年度～R5年度）	△17,164.20㎡ （R3年度～R8年度）	向上・維持
市民1人1日当たりのごみ総排出量	946g（R元年度）	908g	893g	861g	向上・維持
コミュニティバス及びデマンドタクシーの年間利用者数の合計人数	196,816人（R2年度）	216,847人	231,378人	280,000人	向上・維持

戦略的プロジェクトに係る基本目標の進捗

4 デジタル技術を活用して新たな価値をつくる（戦略的プロジェクト）

【数値目標】

指標	策定時	現状値（R5）	目標値（R8）	到達度
行政サービスのデジタル化を便利と感じている市民の割合（市民アンケート）	新規	67.2%	50.0%以上	達成

【施策（抜粋）】

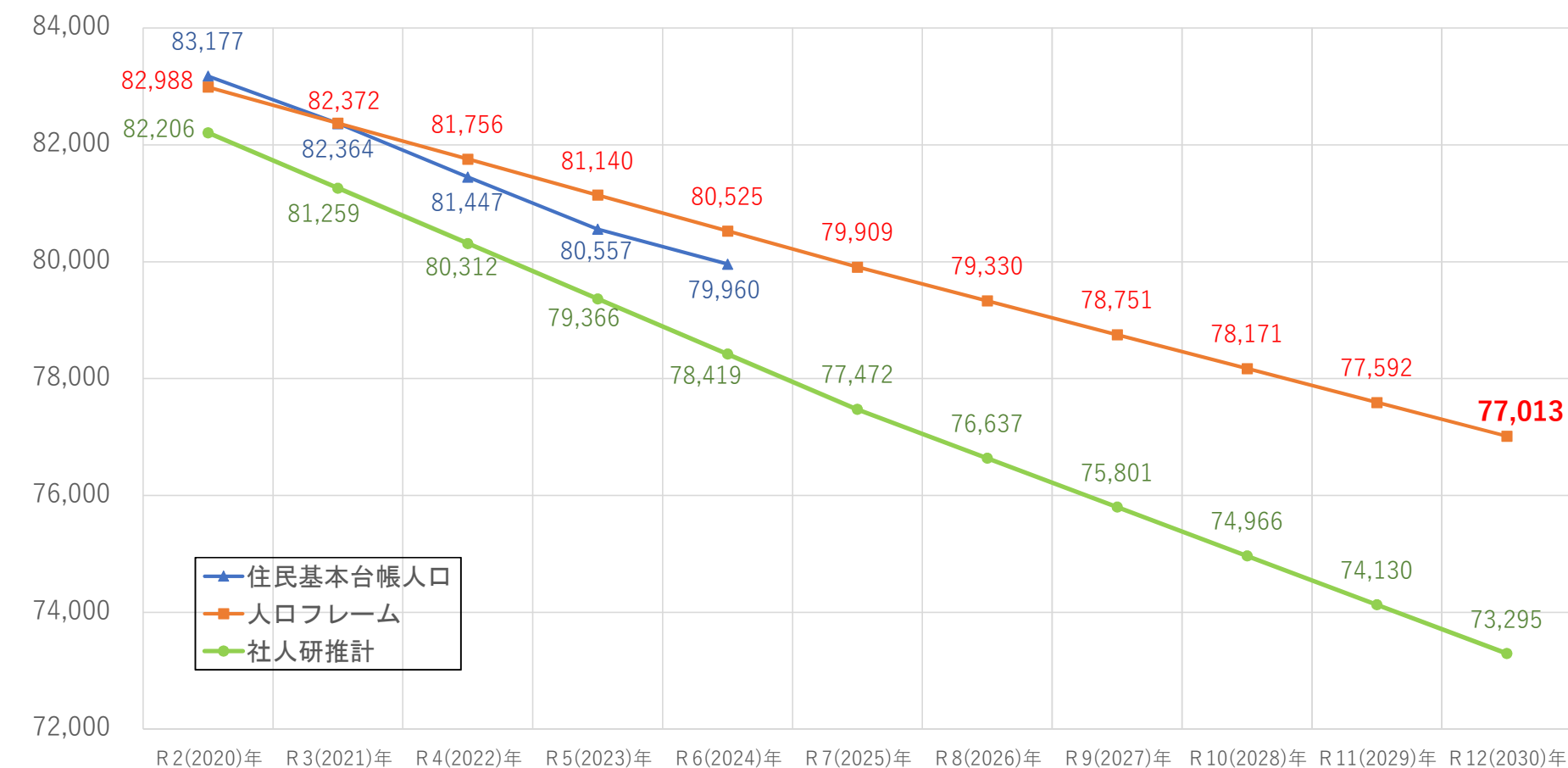
取組の方向性	施策分野	施策の展開
ゆとりと安心のある暮らしに向けた変革（暮らしの変革）	3-1 子育て	②保育環境の整備と特色ある幼児教育・保育の推進
	4-1 防災・減災	②災害に備えた環境の整備
	4-4 消防・救急	①市民の安全安心につなげる消防・救急体制の充実
	4-6 移動	①鉄道及び民間路線バスの利用促進 ⑤自動運転技術の活用に向けた研究
	5-6 行財政マネジメント	④デジタル化による住民サービスの向上及び行政経営の効率化
人材育成の推進や教育面における変革（知の変革）	3-2 学校教育	③新しい時代に必要な資質・能力の育成
	3-3 生涯学習	②子どもも大人も学び成長し続けられる機会の充実 ③自主的に学び続けられる読書環境の整備
地域の活性化に向けた産業の変革（産業の変革）	1-1 商工業振興	③地域を支える事業者の経営力強化
	1-2 農林業振興	②安定した農業経営の確立

【KPI】

指標	策定時	実績値		目標値（R8年度）	到達度
		R4年度	R5年度		
電子申請サービスの取組数	9（R2年度）	—	80	27	達成
授業中にタブレット端末を週3日以上使用するクラス	新規	63.3%	77.7%	80.00%	向上・維持
事業者のデジタル化に向けた啓発セミナーの開催回数	新規	0回／年	1回／年	2回／年	向上・維持
デジタルデバйд対策講座の開催回数	16回（R3年度上半期）	17回／年	66回／年	30回／年	達成

君津市人口動態

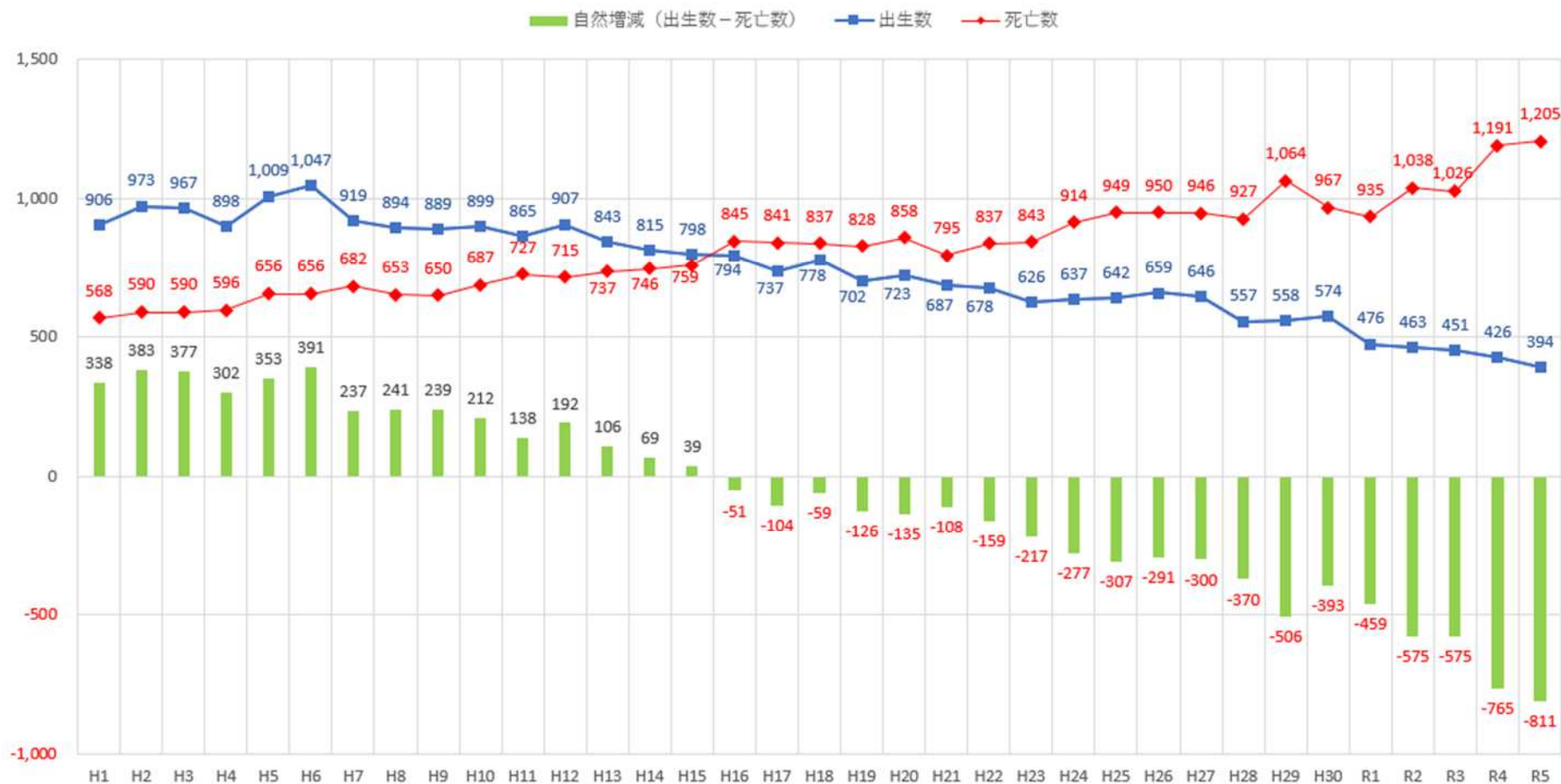
本市の住民基本台帳人口の推移は、令和5(2023)年社人研推計値を上回っているが、人口フレームの推計値を下回っている。



※住民基本台帳人口 R6(2024)年 のみ6月末時点

自然動態の推移 令和5年は「自然減」加速

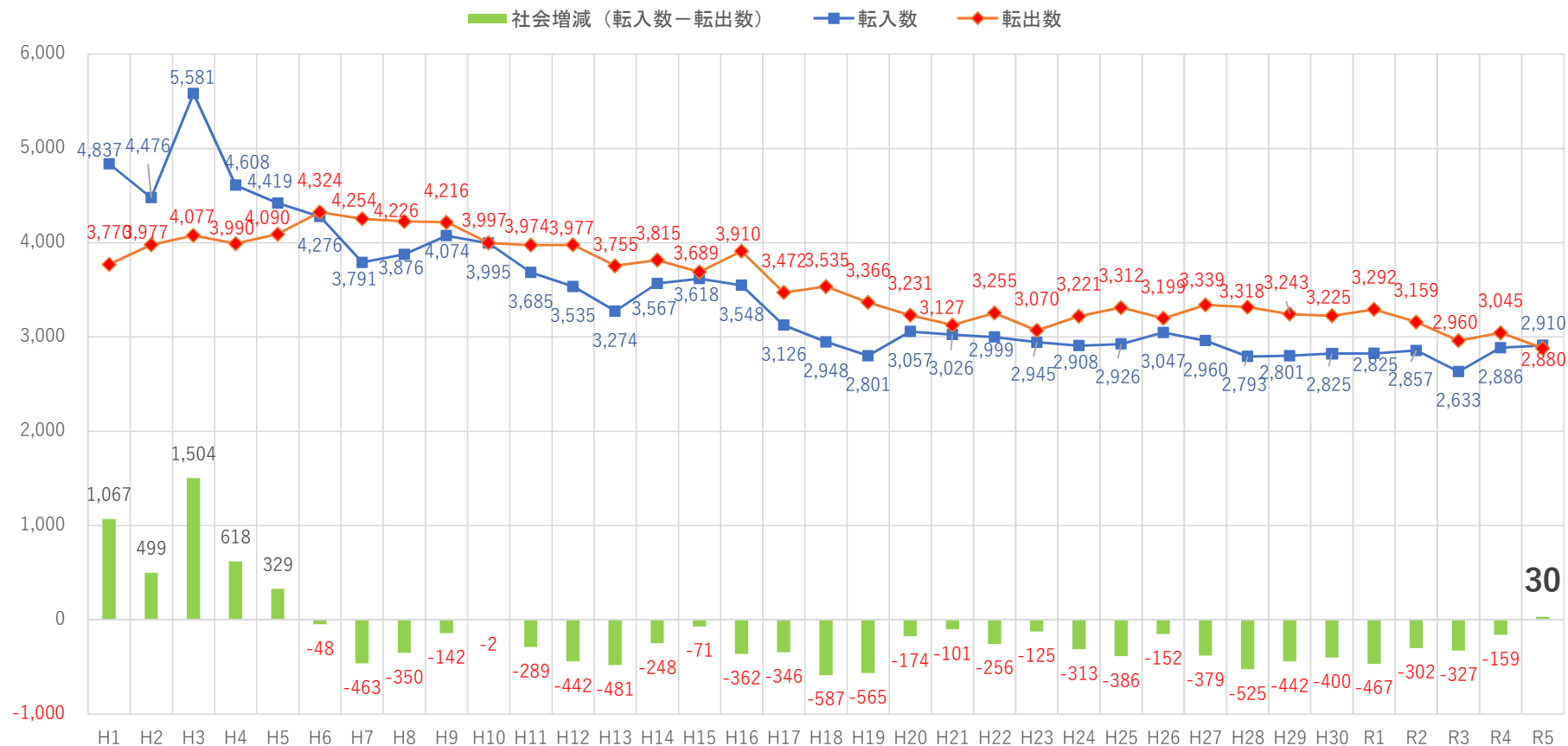
平成16（2004）年には死亡数が出生数を上回る「自然減」の状態となり、死亡数と出生数の差は拡大傾向にある。



出典：君津市「君津市統計書」 千葉県「令和5年千葉県毎月常住人口調査報告書(年報)」から作成

社会動態の推移 令和5年は「社会増」達成

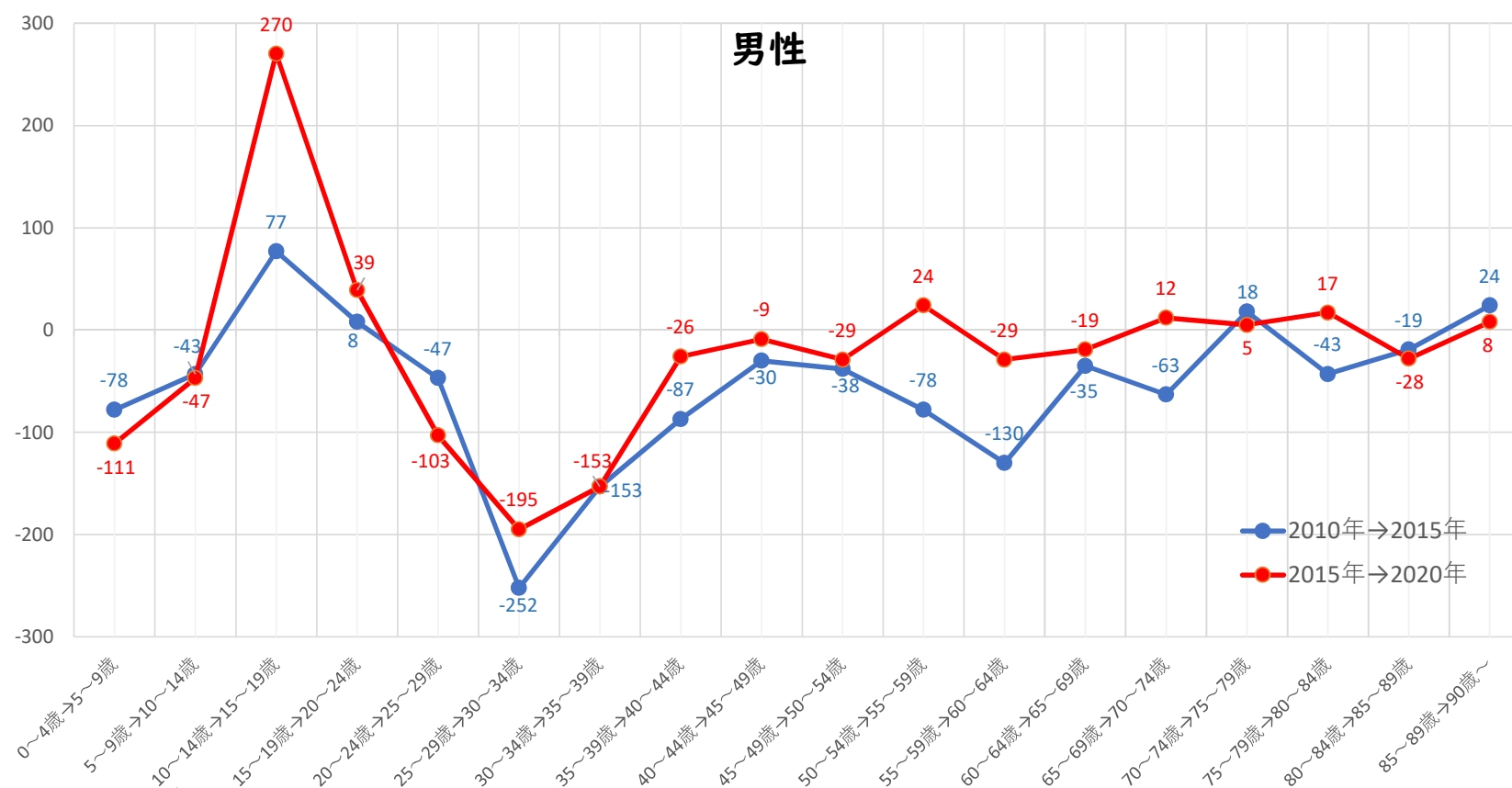
転入・転出数の推移をみると、平成6（1994）年以降、転出数が転入数を上回る「社会減」が令和4年まで続いていたが、転出数は減少傾向にあり、令和5年には「**社会増**」を達成した。



出典：君津市「君津市統計書」千葉県「令和5年千葉県毎月常住人口調査報告書(年報)」から作成

社会動態の傾向（年齢階級別純移動数（男性））

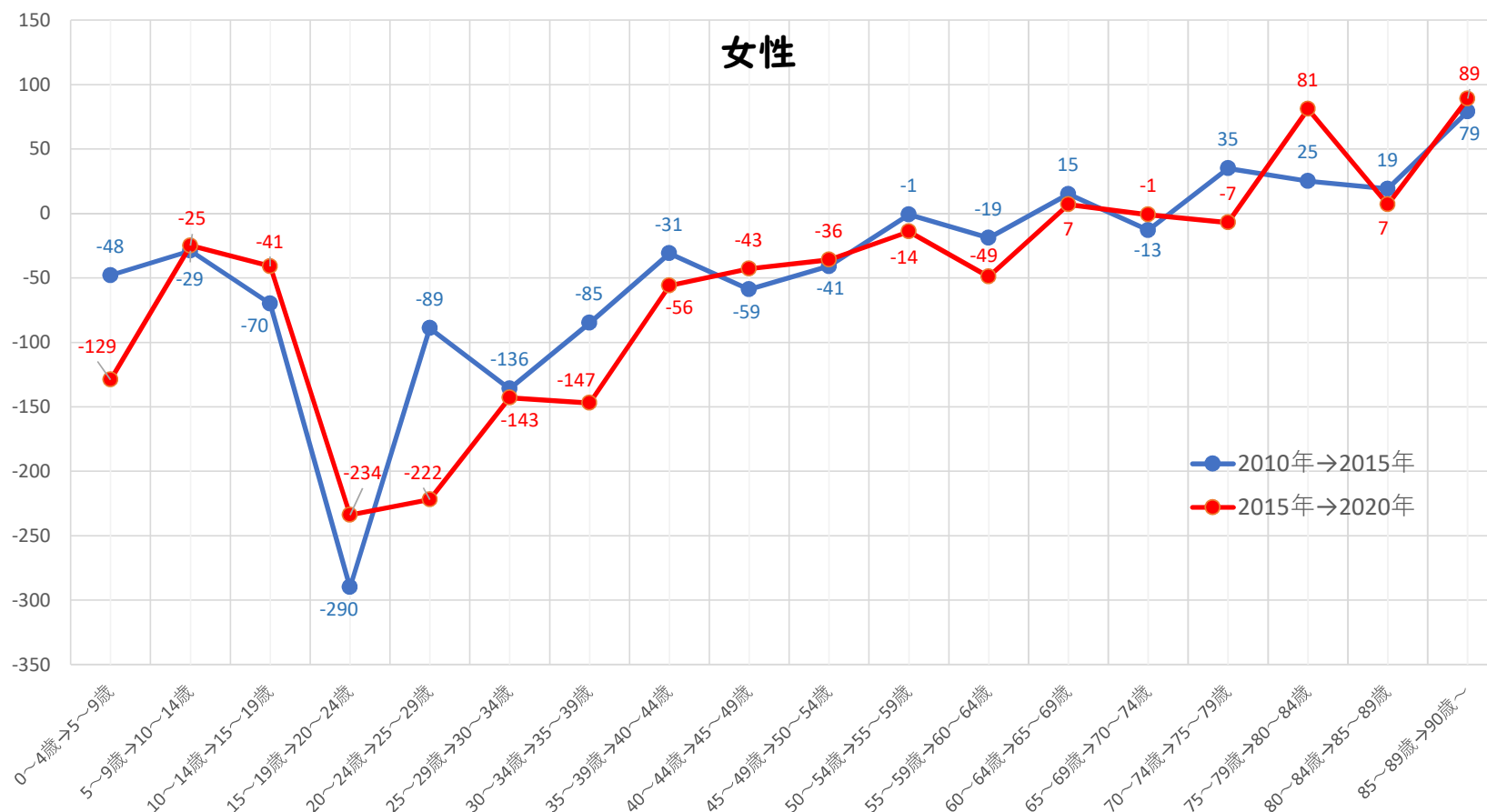
- ・年齢階級別純移動数：ある年齢幅の人数が5年後にどれくらいあったかを示す。例えば、男性で2015年に0～4歳の方が5年後の2020年に5～9歳となったときに111人減った。
- ・「2010年→2015年」と「2015年→2020年」を比較すると、多くの年代で減少幅が縮小傾向だが、若い世代の転出超過数は依然として高い数値となっている。
- ・「10～14歳→15～19歳」「15～19歳→20～24歳」で転入超過となり、「20～24歳→25～29歳」「25～29歳→30～34歳」「30～34歳→35～39歳」で大幅な転出超過となっていることから、就職等のタイミングで転入した方が、結婚や住宅購入等のタイミングで転出していると考えられる。



出典： RESASから作成 （元データ 総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」）

社会動態の傾向（年齢階級別純移動数（女性））

- ・年齢階級別純移動数：ある年齢幅の人数が5年後にどれくらいあったかを示す。例えば、女性で2015年に0～4歳の方が5年後の2020年に5～9歳となったときに129人減った。
- ・「2010年→2015年」と「2015年→2020年」を比較すると、グラフの形はほぼ同じだが、「20～24歳→25～29歳」が大きく減少している。
- ・「15～19歳→20歳～24歳」「20～24歳→25～29歳」のタイミングで大きく減少していることから、進学や就職等のタイミングで転出していると考えられる。



出典： RESASから作成 （元データ 総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」）

令和5（2023）年の転入出数の内訳

転入数は木更津市が437人と最も多く、次いで富津市が295人、袖ヶ浦市が98人である。
 転出数は木更津市が641人と最も多く、次いで富津市が205人、袖ヶ浦市が134人である。

転入



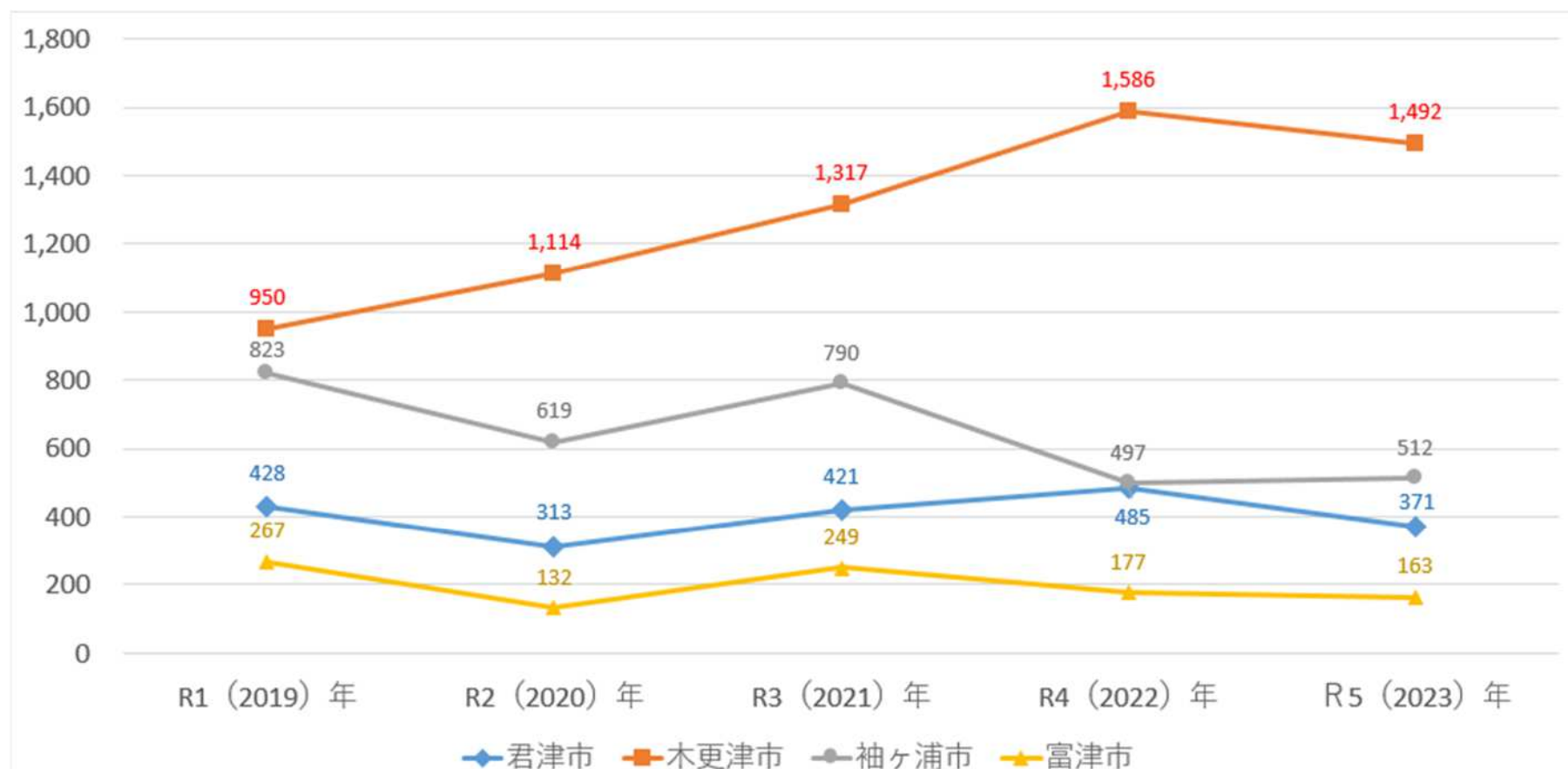
転出



出典：RESAS 人口の社会増減
 From-To（定住人口）

新設住宅着工件数の推移

新設住宅の着工件数の推移は、木更津市は増加、袖ヶ浦市は減少、君津市・富津市は横ばいである。



出典：千葉県建築着工統計 月別・年度別資料

新設住宅：新築（旧敷地以外の敷地への移転を含む。）、増築又は改築によって住宅の戸が新たに造られるもの。
利用関係：持家、貸家、分譲住宅、給与住宅